

内閣官房長官 加藤 勝信 殿

コロナ禍における同人誌即売会への支援策提言

令和3年4月28日

マンガ・アニメ・ゲームに関する議員連盟

会長 古屋 圭司

コミックマーケットをはじめとする同人誌即売会は、マンガやアニメ・特撮、ゲーム等の MANGA 文化に親しむ人々による交流の場であると同時に、次代を担う新たなクリエイターを生み出すゆりかごとして、我が国 MANGA 文化、産業を支える基盤としても大きな役割を果たしてきた。大小併せ年間約 1,000 回に及ぶ同人誌即売会は、東京ビッグサイトの年間利用者に占める割合が 1 割を超える等、経済活動としても重要な意義を有している。当議連は、同人誌即売会の係る重要な意義から、2015 年の TPP 協定に伴う著作権侵害の非親告罪化問題への対応等、同人誌即売会に重大な関心を払ってきた。

然るに、コロナ禍により、昨春から昨夏にかけてほぼ全ての同人誌即売会が中止となり、昨秋には部分的に再開がみられたものの、年明けの緊急事態宣言以降はごく一部を除いて、開催見合わせが続いている。このため、同人誌を主とする専門書店や印刷会社が事業縮小や撤退を行う等、我が国 MANGA 文化の基盤に重大な影響が現れつつある。

係る状況に対し、同人誌即売会の主催者らも、感染防止対策を講じた上での試行的な開催やクラウドファンディングによる支援を募る等、可能な限り懸命な対応を模索されている。しかしながら、同人誌即売会の一部の例外を除き、多数のボランティアによって支えられている等、必ずしも堅固な財政的基盤を有しない小規模団体や個人によって運営されている。これは、年 2 回で約 150 万人が集っていたコミックマーケットも異ならない。このことから、同人誌即売会の関係者による自助努力には、自ずから限界があるといわざるを得ない。

そこで、当議連は、所属議員の総意を以て、以下、提言する。

1. 同人誌即売会に係る感染防止対策ガイドラインの履践を条件として、同人誌即売会の特性や実績に応じた収容上限人数の設定や類似事例に準じた来場者連絡先の取得の省略等、必要に応じた対応を柔軟に講じること
1. 東京都はじめ、地方公共団体の管理する施設等を会場とすることが多く、経費に占める会場費の割合が高いことに鑑み、関連施設や地方公共団体等に対し、収容制限に応じた会場費の減免や感染再拡大によるキャンセル料の減免等、同人誌即売会の文化的側面に意を致した柔軟な対応を求めること

以上